

令和5年度群馬県歯科技工士会生涯研修

(自由研修課程)

日時

令和5年 **7月2日** (日)

10:00～13:00 (受付9:30～)

会場

群馬県生涯学習センター4F第1研修室

群馬県前橋市文京町2-20-22 ※定員80名

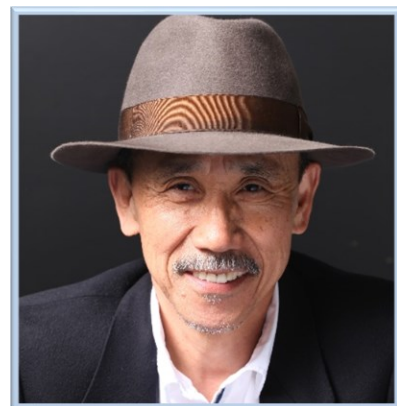
演題

審美補綴に必要な天然歯形態と
基本三形態の類似性

講師

片岡 繁夫 先生

大阪セラミックトレーニングセンター 主宰



【参加費】 **無料** 会員 (日本歯科技工士会及び群馬県歯科技工士会) ・ 学生

有料 会員外 **2,000円**

歯科技工士・歯科医師・歯科衛生士・一般

【申込み方法】 QRコードまたはFAX (裏面)

<https://forms.gle/sk4Nkn7GcM72CwX87>



【申込締切】 令和5年6月26日

【後援】 厚生労働省 公益社団法人日本歯科技工士会

日技会員は生涯研修当日「歯科技工士生涯研修カード」の持参をお願いします

お問い合わせ先

公益社団法人群馬県歯科技工士会事務所

前橋市江田町593-1 2-D

mail : gun-gi@bay.wind.ne.jp TEL : 027-254-4341

抄録

審美補綴を完成に導く要因として、歯牙形態がもっとも大切と考える。
健康的で、美しい顔貌を含めた口腔の回復は、歯牙排列の位置関係（Positioning）であり、個々の天然歯のもつ歯牙形態（Morphology）、及び表面性状（Surface, Characterization）を再現することである。

以上は、表面的に見える美しさを司る要因であるが、歯周組織の健康を取りもどし、かつ維持することも、審美補綴では欠かすことのできない事である。それらもまた天然歯牙の形態を再現することに有ると考える。

よって、天然歯形態には、補綴物に必要な全ての事柄が兼ね備えられている。

天然歯形態を様々な角度から観察し、美しい顔貌、及び健康的な歯周組織の美しさを創る為の補綴物がどのような形態であるかを考察する。

更に、天然歯はある法則に則り、基本三形態に分類する事が出来、それらの形態（円形、尖形、方形）は類似性を持つ事を解説する。

講師略歴

大阪セラミックトレーニングセンター 主宰
有限会社片岡セラミック 代表
I V O C L A R 社国際インストラクター
1972 行岡医学技術専門学校歯科技工士科卒業
1984 大阪セラミックトレーニングセンター開校
1989 (有)片岡セラミック開業
1994 大阪セラミックトレーニングセンター宮崎校 開校
2006 (有)ZERO publishing設立
2015 龍馬塾 開塾

**** FAXからのお申し込みはこちらです****

生涯研修参加申込書

群馬県歯科技工士会 F A X 0 2 7 - 2 5 4 - 4 3 2 7

お名前(ふりがな)

会員

会員外

歯科技工士 歯科医師 歯科衛生士 学生 その他 ()

【ご連絡先】 電話番号 ()

F A X 番号 ()

mail @

【ご住所】 〒 ー